

YOKOHAMA TRIENNALE 2011

OUR MAGIC HOUR

世界はどこまで知ることができるか？

ヨコハマ
トリエンナーレ
2011
8.6→11.6

記者会見資料
2011年8月5日
横浜トリエンナーレ組織委員会



www.yokohamatriennale.jp

ヨコハマトリエンナーレ 2011 がいよいよ開幕します。

3月11日の東日本大震災以降、ここに至るまで実に多くの方々に後押しをいただきました。とりわけ海外はじめ、参加アーティストの皆様から、来日しよう、トリエンナーレを実現しようという心強いメッセージを頂戴いたしました。日本を元気にしたい、という皆様の思いに私は大変感激しています。

また、トリエンナーレは4回目になりますが、今回、文化庁の「国際芸術フェスティバル支援事業」に位置づけられ、ナショナルプロジェクトとしてのトリエンナーレの歴史を引き継ぐことができました。

その他にも様々な形で多くの方々にご支援・ご協力いただいております。皆様に深く感謝申し上げますとともに、開催中も引き続きよろしく願っています。

今回のトリエンナーレの特色を、一部ご紹介します。

展覧会コンセプトは「OUR MAGIC HOUR—世界はどこまで知ることができるか?—」、そのメイン会場のひとつは横浜美術館です。19世紀後半からの豊富なコレクション、写真発祥の地ならではの貴重な写真コレクションを持っています。かねてより、横浜を代表する芸術の拠点である横浜美術館をトリエンナーレで使いたいと思っており、今回それが実現いたしました。

また、現代アートの拠点、BankART Studio NYKとして親しまれている日本郵船海岸通倉庫は、まさに港町横浜ならではの、歴史が香る建築物です。これら特長ある空間に現代アートが並ぶことに、私自身、大変期待をしています。

もう一つの大きな特色は、まちなかへの展開です。創造都市・横浜は、文化・芸術の力で、歴史的建築物などを活用するまちづくりを進めてきました。トリエンナーレの期間中は、横浜に集まるアーティストの協力を得て、まち中が様々なアートやプログラムで彩られることとなります。

今回のトリエンナーレは、横浜のみどころ満載の観光プロモーション「OPEN YOKOHAMA 2011」と同時開催で行われます。この時期、横浜のまちを挙げて、世界中からお越しの皆様をおもてなしいたします。

横浜が、世界の不思議を覗く窓になる3か月間、心躍るような魔法のひとつときをお過ごしください。

横浜トリエンナーレ組織委員会
会長
横浜市長
林 文子



いよいよヨコハマトリエンナーレ 2011「OUR MAGIC HOUR—世界はどこまで知ることができるか？」が開幕の運びとなりました。

横浜トリエンナーレの運営母体が国際交流基金から横浜市に移り、横浜美術館が初めて主会場のひとつになるなど、第4回目の今回は、ソフト、ハードの両面で過去3回とは大きく異なるターニング・ポイントといえます。

また、1859年の横浜港開港以来、日本の近代化とともに歩んできた横浜で、現代社会や人間存在を照射する現代美術の祭典を実施することは、新しい思考や表現の享受、人々の交流、異文化や多様な価値観の受容という観点からも、ふさわしいと考えます。

今回は「みる、そだてる、つなげる」をヨコハマトリエンナーレ 2011の方針として、現代美術のもつ多様な可能性を広く伝える試みを実施します。

主会場となる横浜美術館と日本郵船海岸通倉庫（BankART Studio NYK）、他会場のひとつとなるヨコハマ創造都市センター（YCC）では異なる空間の特徴を生かした展示によって、作品を「みる」経験を深化させ、想像力を駆使しながら時空間を逍遙し読み解く醍醐味を味わっていただけるでしょう。また「そだてる」一環として、子どもたちにとって実のある体験となる、ジュニア・プログラムや、美術界外からも応援をいただく特別サポーター・プログラムも用意しています。

そして、主会場と多様な企画やジャンルを「つなぐ」ことも今回の新しい試みです。特徴ある活動を継続しているNPOや文化施設、大学との連携により、美術のみならず音楽、演劇、映画、古典芸能などのプログラムも数多く用意して、ヨコハマトリエンナーレ 2011を楽しむ回路を広げました。特別連携プログラム「BankART Life III」や「黄金町バザール 2011」の会場も観覧できるセット券を準備し、利便性を図りました。

東日本大震災から5か月を経た現在、困難を乗り越え少しずつ前進しようとする状況を、ささやかではありますが、私たちはアートによって後押ししたいと考えます。参加することが募金につながる作品や、被災地を知るトークも準備しました。

現代美術が示す、世界を複眼的に見る力や世界を知ろうとする読解力が、マジックのように複雑で険しい道筋への一条の光となることを願っています。

ヨコハマトリエンナーレ 2011
総合ディレクター
逢坂 恵理子



撮影：鈴木理策

ヨコハマトリエンナーレ2011総合ディレクター、横浜美術館館長
国際交流基金、ICA名古屋で、多くの現代美術の国際展にかかわり、水戸芸術館美術センター(1994-2006年、1994年より主任学芸員、1997年より芸術監督)、森美術館アーティスティック・ディレクター(2007-2009年)を経て、2009年4月より現職。第49回ヴェネチア・ビエンナーレ日本館コミッショナー(2001年)など、豊富な経験を持つ。学習院大学文学部哲学科卒業、芸術学専攻。

開催概要



ヨコハマトリエンナーレ2011

OUR MAGIC HOUR—世界はどこまで知ることができるか？—

- ディレクター 総合ディレクター：逢坂恵理子
アーティスティック・ディレクター：三木あき子
- 会期 2011年8月6日（土）～11月6日（日）
（休場日：8月、9月の毎週木曜日、10月13日（木）、10月27日（木））
- 会場 横浜美術館、日本郵船海岸通倉庫（BankART Studio NYK）、その他周辺地域
- 開場時間 11:00～18:00 ※入場は17:30まで

■主催

横浜市、NHK、朝日新聞社、横浜トリエンナーレ組織委員会

■共催

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団

■支援

 文化庁 国際芸術フェスティバル支援事業

■特別協力

 JAPAN FOUNDATION  国際交流基金

■後援

外務省、神奈川県、神奈川新聞社、tvk（テレビ神奈川）

■助成

Asian Cultural Council、財団法人アサヒビール芸術文化財団、Iaspis、公益財団法人野村財団

■協賛

三菱地所株式会社、森ビル株式会社、日産自動車株式会社、アサヒビール株式会社、株式会社JVCケンウッド、株式会社大林組、川本工業株式会社、株式会社資生堂、株式会社ワコール、株式会社崎陽軒、株式会社サカタのタネ、横浜銀行、横浜信用金庫、馬淵建設株式会社、みなとみらい21熱供給株式会社

■協力

株式会社キタムラ、京浜急行電鉄株式会社、相模鉄道株式会社、ソフトバンクテレコム株式会社、東京急行電鉄株式会社、日本航空、日本飛行機株式会社、株式会社ポンパドウル、横浜高速鉄道株式会社、横浜市交通局、ライトウェイプロダクツジャパン株式会社

■寄附

横浜信用金庫、日揮株式会社、株式会社トロンマネージメント

■特別連携プログラム

BankART Life III（新港ピア）、黄金町バザール2011（黄金町エリア）

■料金

特別連携セット券<お得なセット券>

当日：一般1,800 / 大学・専門学校生 1,200円 / 高校生 700円

ヨコハマトリエンナーレ2011

当日：一般1,600 / 大学・専門学校生 1,000円 / 高校生 600円

※中学生以下、障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料
※会場で、20名以上同一券種で当日券購入の場合団体割引（200円引）あり
※ヨコハマトリエンナーレ2011チケットは1会場につき1日間有効
※特別連携セット券は、「BankART Life III」（新港ピア）、
「黄金町バザール2011」（黄金町エリア）との共通入場券
※特別連携プログラムの各会場で会期中有効のフリーパスと引き換えます

アクセス・マップ



■会場間無料バス

メイン会場（横浜美術館、日本郵船海岸通倉庫（BankART Studio NYK））と特別連携プログラム会場（新港ピア、黄金町エリア）を巡回する会場間無料バスを運行します。

■ヨコハマトリエンナーレ2011 ビジターセンター

横浜美術館会場に設置されるビジターセンターでは、サポーター（ボランティアスタッフ）がトリエンナーレに関する情報の他、交通案内、周辺地域のおすすめスポット情報、周辺施設でのアート関係のイベント情報などを提供します。

■その他周辺地域

ヨコハマ創造都市センター（YCC）など



撮影:笠木晴之

横浜美術館
〒220-0012 横浜西区みなとみらい3-4-1

■アクセス

みなとみらい線「みなとみらい駅」
クイーンズスクエア連絡口 徒歩5分
JR線、横浜市営地下鉄線「桜木町駅」 徒歩10分
開場時間：11:00～18:00 ※入場は17:30まで



日本郵船海岸通倉庫（BankART Studio NYK）
〒231-0002 横浜市中区海岸通3-9

■アクセス

みなとみらい線「馬車道駅」6番出口
「赤レンガ倉庫口」 徒歩4分

開場時間：11:00～18:00 ※入場は17:30まで



ヨコハマ創造都市センター（YCC）
〒231-8315 横浜市中区本町6-50-1

■アクセス

みなとみらい線「馬車道駅」1b番出口（直結）
JR線、横浜市営地下鉄「桜木町駅」 徒歩5分

開場時間：11:00～19:00

OUR MAGIC HOUR —世界はどこまで知ることができるか?—

21世紀初頭の現在、科学技術は高度に発達し、インターネット等のメディアによって世界は隅々まで明らかにされたかに思えます。しかし、我々の身の回りには、まだまだ科学や理性では説明できない世界の不思議が多く存在するとともに、科学技術の発展によって我々の時空間概念も大きく変容しつつあります。

第4回目となる横浜トリエンナーレでは、「OUR MAGIC HOUR—世界はどこまで知ることができるか?—」というタイトルのもと、世界や日常の不思議、魔法のような力、神話、伝説、アニミズム等を基調とした作品に注目します。この方向性は、決して科学の限界を問うものでも、また神秘主義を讃えたり、単にアートの娯楽性のみを追求したりするものでもありません。それよりも、こうした科学や理性では解き明かせない領域に改めて眼を向けることで、これまで周辺と捉えられていた、あるいは忘れ去られていた価値観や、人と自然の関係について考えるとともに、より柔軟で開かれた世界との関わり方や、物事・歴史の異なる見方を示唆しようとするものです。

今回、横浜美術館と日本郵船海岸通倉庫（BankART Studio NYK）の二つのメイン会場に加え、ヨコハマ創造都市センター（YCC）など屋外数箇所にも、国内外の77組/79名のアーティストらによる作品を中心に、総計300点以上の作品が一挙に展示されます。

展覧会タイトルにもなっている、虹の作品《OUR MAGIC HOUR》や原始彫刻を想起させる巨大な彫刻群等が人々を迎え入れる横浜美術館では、現代美術作品とともに、所蔵作品の近代絵画、浮世絵やコプト織のような歴史的作品から妖怪グッズまで、制作年代も素材もジャンルも異なる多種多様な作品が展示されます。

このように、本トリエンナーレでは、会場の各所にさまざまな「遭遇・出会い」を発見することができます。それは、単に観客参加型の作品を含むということではなく、思いがけない組み合わせで、時代や世代、文化背景、ジャンルの異なる作品が対峙・対話、関係性をもつことで新たな解釈や創造が生まれ、分類やカテゴリーにとらわれない自由な鑑賞の旅を促します。また、今回から同館が主会場のひとつになったことを受けて、美術館の所蔵品や美術館という場所に新たな視点を投げ掛ける作品も含まれます。

一方、日本郵船海岸通倉庫（BankART Studio NYK）では、植物や霧、砂といった生の素材を用いた大型のインスタレーションや、会場でアーティスト自身が直接創り上げる彫刻作品等、ダイナミックでサイトスペシフィックな展示をご覧ください。

また、メイン会場の外でもさまざまな出会いがあります。人々が集い、情報が行き交う場所として発足したヨコハマ創造都市センター（YCC）内には、突如温室が出現し、植物のための音楽ライブ演奏が行われます。また、市内の植物園では、そこで育てられた南瓜に美しいタイ・カーヴィングが施されます。

いずれの会場もテーマにあわせたセクション構成等は設定していませんが、「起源（無からの創造）」、「錬金術」、「儀式」、「夢・無意識」、「世界を測る」、「個人神話」、「玉・円・循環」、「奇妙な風景」、「幻影・現出」、「森」、「宇宙」、「進化」、「時空間トリップ」、「見えるもの／見えないもの」、「トランス／マントラ」、「想像の都市／架空の生物」、「魔術師」、「神懸り（日常とスピリチュアル）」、「浮遊」、「生命力」、「生と死」、「混沌と秩序」、「太陽でも死でもなく」、「花を捧ぐ」といった多くのキーワードが隠されています。

作品や展覧会に、こう見るべきという決まりはありません。混沌とした雰囲気の中からは、各観客それぞれが自由に想像力を働かせて、作品とキーワードを繋げたり、異なる作品同士の関係性を考えたりしながら、独自の展覧会のストーリーを紡ぎ出してもらえればと思います。

謎や矛盾を柔軟に受け止め、視点を変えれば、魔法のように世界は開けるかもしれない——ヨコハマトリエンナーレ2011は、先行きの見えない混沌の時代といわれる現在、こうした思いのもと、既成の枠組みや観念に縛られず、子供のように純粋な好奇心と柔軟性、想像力をもって、我々の生きる環境や時代、そして人間存在について改めて考えようとするものです。本トリエンナーレが、世界の奥深さとともに、人間の創造力、強さ、可能性を再確認できるミラクルな時間の旅となることを願います。

ヨコハマトリエンナーレ2011
アーティストティック・ディレクター
三木あき子

ヨコハマトリエンナーレ2011 アーティストティック・ディレクター
インディペンデント・キュレーター、電通アートプロジェクト共同ディレクターなどを経て2000年にパレ・ド・トーキョー（パリ）のチーフ・キュレーターに就任。現在パリを拠点に活動。パーピカンアートギャラリー（ロンドン）や韓国国立現代美術館等での企画、台北ビエンナーレ等の国際展での経験も多数。
米国ワシントン大学美術史科卒業、パリ第四ソルボンヌ大学美術史修士課程修了。



1 安部 泰輔 / ABE Taisuke

1974年 大分県生まれ。同在住。
[b] 1974, Oita, Japan. [l/w] Oita



《どこから来てどこへ行くのか ルネ・マグリット<王様の美術館>》2011
©Taisuke Abe photo by Takashi KUBO

2 荒木 経惟 / ARAKI Nobuyoshi

1940年 東京都生まれ。同在住。
[b] 1940, Tokyo. [l/w] Tokyo



《古希ノ写真》2010
Courtesy of Taka Ishii Gallery

3 リナ・パネルジー / Rina BANERJEE

1963年 コルカタ(インド)生まれ。ニューヨーク在住。
[b] 1963, Kolkata, India. [l/w] New York



《I'll get you my pretty!》2009
Courtesy of the artist and Haunch of Venison, London
image courtesy: Haunch of Venison, London

4 マッシモ・バルトリーニ / Massimo BARTOLINI

1962年 チェーナ(イタリア)生まれ。同在住。
[b] 1962, Cecina, Italy [l/w] Cecina



《Organ》2008
Installation View at Galleria Massimo de Carlo, Milan, Italy. 2008.
Courtesy: Fundación Helga de Alvear, Madrid - Cáceres, Spain

5 ミハエル・ボレマンス / Michaël BORREMANS

1963年 ヘラルツベルヘン(ベルギー)生まれ。アントワープ在住。
[b] 1963, Geraardsbergen, Belgium [l/w] Ghent



《The Trees》2008 国立国際美術館蔵 / Collection of The National Museum of Art, Osaka
© Michaël Borremans / Courtesy Zeno X Gallery, Antwerp and Gallery Koyanagi, Tokyo

6 コンスタンティン・ブランクーシ
/ Constantin BRĂNCUȘI

1876-1957年 ホビツァ(ルーマニア)生まれ。パリにて没。
[b] 1876, Hobita, Romania [d] 1957, Paris

横浜美術館
コレクション

7 ジェイムス・リー・バイヤース / James Lee BYARS

1932-1997年 ミシガン州デトロイト(アメリカ)生まれ。
エジプト、カイロにて没。
[b] 1932, Detroit, Michigan, USA [d] 1997, Cairo



《Five Points Make A Man》Performance View
Courtesy the Estate of James Lee Byars and Michael Werner Gallery, Berlin, Cologne and New York
Photo: Thomas Müller

8 ミルチャ・カントル / Mircea CANTOR

1977年 オラディア(ルーマニア)生まれ。地球在住。
[b] 1977, Oradea, Romania. [l/w] Earth



《Tracking Happiness》2009 still from the film
Courtesy the artist, Yvon Lambert, Paris and Dvir Gallery, Tel Aviv © 2009 Mircea Cantor

9 ピーター・コフィン / Peter COFFIN

1972年 カリフォルニア州パークレー(アメリカ)生まれ。
ニューヨーク在住。
[b] 1972, Berkeley, California, USA [l/w] New York



《Untitled (Greenhouse)》2002-2011 Courtesy of the artist

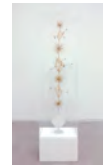
10 ヴェナンツォ・クロチェッティ / Venanzo CROCETTI

1913-2003年 ジュリアノーヴァ(イタリア)生まれ。ローマにて没。
[b] 1913, Giulianova, Italy [d] 2003, Rome.

横浜美術館
コレクション

11 ビョルン・ダーレム / Björn DAHLEM

1974年 ミュンヘン(ドイツ)生まれ。ベルリン在住。
[b] 1977, Munich, Germany [l/w] Berlin



《Milky Way》2008
Courtesy of hiromiyoshii

12 ヴェルネ・ドーソン / Verne DAWSON

1961年アラバマ州メリディアンヴィル(アメリカ)生まれ。
ニューヨーク在住。
[b] 1961, Meridianville, Alabama, USA [l/w] New York



《The Old Mill Calendar》2011 Nunzia e Vittorio Gaddi Collection
courtesy of Victoria Miro Gallery, London and Gavin Brown's enterprise, New York

13 ポール・テルヴォー / Paul DELVAUX

1897-1994年 アンテイト(ベルギー)生まれ。フェールヌにて没。
[b] 1897, Antheit, Belgium [d] 1994, Veurne

横浜美術館
コレクション

14 デワール&ジッケル / DEWAR & GICQUEL

ダニエル・デワール:1976年 フォレスト・ティーン(イギリス)生まれ。パリ在住。
グレゴリー・ジッケル:1975年 サン=ブリユ(フランス)生まれ。パリ在住。
Daniel DEWAR [b] 1976, Forest Dean, UK [l/w] Paris
Grégory GICQUEL [b] 1975, Saint-Brieuc, France [l/w] Paris



《Otter and Trout》2007 Private collection, Paris, France. View of the exhibition Dewar & Gicquel.
FRAC Basse Normandie, Caen, 2007 Courtesy the Artists and Galerie Loevenbruck, Paris Photo Marc Damage

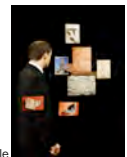
15 マックス・エルンスト / Max ERNST

1891-1976年 ブリュール(ドイツ)生まれ。パリにて没。
[b] 1891, Brühl, Germany [d] 1976, Paris

横浜美術館
コレクション

16 オレリアン・フロマン / Aurélien FROMENT

1976年アンジェー(フランス)生まれ。ダブリン在住。
[b] 1976, Angers, France [l/w] Dublin



《Théâtre de poche》2007 Production still.
Courtesy of the artist and Motive Gallery, Amsterdam Photo: Aurélien Mole

17 ライアン・ガンダー / Ryan GANDER

1976年 チェスター(イギリス)生まれ。ロンドン在住。
[b] 1976, Chester, UK. [l/w] London



《A sheet of paper on which I was about to draw, as it slipped from my table and fell to the floor》2008
Daiwa Collection ©Ryan Gander Courtesy of Daiwa Press Co. Ltd. TARO NASU
Photo by Ikon Gallery, Jerry Hardman-Jones

18 ヘンリック・ホーカンソン / Henrik HÅKANSSON

1968年 ムルシンボリ(スウェーデン)生まれ。
フォルケンベルグ、ベルリン在住。
[b] 1968, Helsingborg, Sweden [l/w] Valkenburg and Berlin



《Fallen Forest》2006 Installation view from the solo exhibition 'A travers bois pour trouver la forêt',
Le Palais de Tokyo, Paris, 2006 Courtesy Galleria Franco Noero, Turin

19 ハン・スンピル / HAN Sungpil

1972年 ソウル(韓国)生まれ。ソウル在住。
[b] 1972, Seoul, Korea. [l/w] Seoul



《Melting》2008
©Han Sungpil. Courtesy Arario Gallery, Seoul and Cheonan

20 イェッペ・ハイン / Jeppe HEIN

1974年 コペンハーゲン(デンマーク)生まれ。
コペンハーゲン、ベルリン在住。
[b] 1974, Copenhagen, Denmark [l/w] Copenhagen and Berlin



《Smoking Bench》2002 Installation view at ARoS, Denmark, 2009 Photo by Ole Hein Pedersen

21 **ダミアン・ハースト/Damien HIRST**

1965年ブリストル(イギリス)生まれ。デヴォン在住。
[b] 1965, Bristol, UK [l/w] Devon

31 **金 理有/KIM Riyoo**

1980年大阪府生まれ。同在住。
[b] 1980, Osaka, Japan. [l/w] Osaka



《虚視坊(こしぼう)》2008 個人蔵

22 **池田 学/IKEDA Manabu**

1973年 佐賀県生まれ。バンクーバー在住。
[b] 1973, Saga, Japan [l/w] Vancouver



《コヨーテ / Coyote》2008
©IKEDA Manabu, Courtesy Mizuma Art Gallery

32 **ヨアヒム・コースター/Joachim KOESTER**

1962年 コペンハーゲン(デンマーク)生まれ。ニューヨーク在住。
[b] 1962, Copenhagen, Denmark [l/w] New York



《Tarantism》2007 Courtesy: Jan Mot, Brussels

23 **今村 遼佑/IMAMURA Ryosuke**

1982年 京都府生まれ。同在住。
[b] 1982, Kyoto, Japan [l/w] Kyoto



《ひるのまをながめる》2011 資生堂ギャラリーでの展示風景
撮影：加藤健

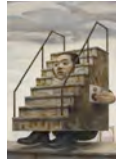
33 **工藤 哲巳/KUDO Tetsumi**

1935-1990年 青森県生まれ。東京にて没。
[b] 1962, Aomori, Japan [d] 1990, Tokyo

横浜美術館
コレクション

24 **石田 徹也/ISHIDA Tetsuya**

1973-2005年 静岡県焼津市生まれ。東京にて没。
[b] 1973, Yaizu, Shizuoka, Japan [d] 2005, Tokyo.



《屋上へ逃げる人》1996
協力：ギャラリーQ/石田徹也展実行委員会 個人蔵

34 **シガリット・ランダウ/Sigalit LANDAU**

1969年 エルサレム(イスラエル)生まれ。テルアビブ在住。
[b] 1969, Jerusalem, Israel [l/w] Tel Aviv



《DeadSee》2005 ©Sigalit Landau
Courtesy the artist and kamel mennour, Paris

25 **岩崎 貴宏/IWASAKI Takahiro**

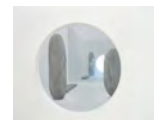
1975年 広島県生まれ。同在住。
[b] 1975, Hiroshima, Japan [l/w] Hiroshima



《Out of Disorder (Complex)》2009
Courtesy of the artist and ARATANIURANO

35 **前田 征紀/MAEDA Yukinori**

1971年 大阪府生まれ。大阪府在住。
[b] 1971, Osaka, Japan [l/w] Osaka



《Light Lodge》2007 Installation view at "Space For Your Future -Recombining the DNA",
Museum of Contemporary Art, Tokyo, 2008 Courtesy of the Museum of Contemporary Art, Tokyo

26 **泉 太郎/IZUMI Taro**

1976年 奈良県生まれ。東京都在住。
[b] 1976, Nara, Japan [l/w] Tokyo



《スラングとしての魚の骨》2010
メディア・シティ・ソウル (ソウル、韓国)での展示風景

36 **ルネ・マグリット/René MAGRITTE**

1898 -1967年 レジヌス(ベルギー)生まれ。ブリュッセルで没。
[b] 1898, Lessines, Belgium [d] 1967, Brussels

横浜美術館
コレクション

27 **チョン・ジュンホ/JEON Joonho**

1969年 釜山(韓国)生まれ。同在住。
[b] 1969, Busan, Korea [l/w] Busan



《彌勒菩薩半跏思惟像》2008-9 撮影：木奥恵三
Private Collection Courtesy: SCAI THE BATHHOUSE

37 **マン・レイ/Man Ray**

1890-1976年 フィラデルフィア(アメリカ)生まれ。パリにて没。
[b] 1890, Philadelphia, USA [d] 1976, Paris

横浜美術館
コレクション

28 **榎木 知子/KASHIKI Tomoko**

1982年 京都府生まれ。同在住。
[b] 1982, Kyoto, Japan [l/w] Kyoto



《土の丘 下には根 上は綱の枝 枝の向こうはコウノトリ 間ではひとは蟻さがし、
もしくは石ころに似せた石ころそっくりの絵を描く》2008
高橋コレクション © Tomoko Kashiki Courtesy of Ota Fine Arts, Tokyo

38 **クリスチャン・マークレー/Christian MARCLAY**

1955年 カリフォルニア州サンラファエル(アメリカ)生まれ。
ロンドン、ニューヨーク在住。
[b] 1955, San Rafael, California, U.S.A
[l/w] London and New York



《The Clock》2010 ©The artist Courtesy the Artist and White Cube

29 **マイク・ケリー/Mike KELLEY**

1954年 デトロイト(アメリカ)生まれ。ロサンゼルス在住。
[b] 1954, Detroit, USA [l/w] Los Angeles



《Kandor City 3 4/5》2007-2009
Collection: The National Museum of Art, Osaka Photo: Fredrik Nissen

39 **森 靖/MORI Osamu**

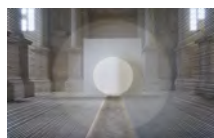
1983年 愛知県生まれ。千葉県在住。
[b] 1983, Aichi, Japan [l/w] Chiba



《絶対領域一龍》2008
©Osamu MORI Courtesy of YAMAMOTO GENDAI

30 **ジルヴィナス・ケンピナス/Žilvinas KEMPINAS**

1969年 プランジ(リトアニア)生まれ。ニューヨーク在住。
[b] 1969, Plunge, Lithuania [l/w] New York



《Tube》2008 Installation view, Lithuanian Pavilion at 53rd Venice
Biennale at Scuola Grande della Misericordia, Venice, 2009
Courtesy Yvon Lambert Gallery, Paris and Galerija Vartai, Vilnius


40 **N.S.ハルシャ/N.S.Harsha**

1969年 マイソール(インド)生まれ。同在住。
[b] 1969, Mysore, India [l/w] Mysore



《Here, All are Devourers》2011 Courtesy of the Artist and Victoria Miro Gallery, London
Private Collection, Taipei

41 **リヴァーネ・ノイエンシュワンダー**
Rivane NEUENSCHWANDER
 1967年 ペロ・オリゾンテ(ブラジル)生まれ。同在住。
 [b]1967, Belo Horizonte, Brazil [l/w] Belo Horizonte



(O Inquilino/The Tenant) 2010 Made in collaboration with Cao Guimarães. Soundtrack: O Grivo
 Courtesy Galeria Fortes Vilaça, São Paulo; Stephen Friedman Gallery, London and Tanya Bonakdar Gallery, NY.

51 **スッシリー・パイオック/Sudsiri PUI-OCK**
 1976年 チェンマイ(タイ)生まれ。同在住。
 [b]1976, Chiang Mai, Thailand [l/w] Chiang Mai



(Pumpkin Project) 2008
 Photo: Chakkrir Chimnok

42 **ジュン・グエン=ハツシバ**
Jun NGUYEN-HATSUSHIBA
 1968年 東京都生まれ。ホーチミン(ベトナム)在住。
 [b]1968, Tokyo, Japan [l/w] Ho Chi Minh City, Vietnam.




(Breathing is Free: 12.756.3 - Chicago Microscope (A Self-portrait), 88.5km) 2010
 Supported by a gift from Howard and Donna Stone and a grant from the Illinois Arts Council
 Courtesy : the artist and Mizuma Art Gallery

52 **トビアス・レーベルガー/Tobias REHBERGER**
 1966年 エスリンゲン(ドイツ)生まれ。フランクフルト在住。
 [b]1966, Esslingen, Germany [l/w] Frankfurt



(Anderer) 2002 Installation view: Geläut - bis ichs hör..., Museum für Neue Kunst, ZKM, Karlsruhe 2002
 © tobias rehberger 2002 courtesy neugerriemschneider, Berlin photo: Wolfgang Günzel

43 **カールステン・ニコライ/Carsten NICOLAI**
 1965年 カール・マルクス・シュタット(ドイツ)生まれ。
 ベルリン、ケムニッツ在住。
 [b]1965, Karl-Marx-Stadt, Germany
 [l/w] Berlin and Chemnitz
 (autoR) 2010 Photo: René Zieger
 Courtesy Galerie EIGEN + ART, Leipzig/Berlin and The Pace Gallery



53 **アレクサンドル・ロトチェンコ**
Aleksandr RODCHENKO
 1891-1956年サンクトペテルブルク(帝政ロシア)生まれ。
 モスクワにて没。
 [b]1891, St. Petersburg, Russia, [d]1956, Moscow



横浜美術館
 コレクション

44 **イサム・ノグチ/Isamu NOGUCHI**
 1904-1988年 ロサンゼルス(アメリカ)生まれ。同没。
 [b]1904, Los Angeles, USA [d] 1988, Los Angeles



横浜美術館
 コレクション

54 **ウーゴ・ロンディノーネ/Ugo RONDINONE**
 1964年 ブルンネン(スイス)生まれ。ニューヨーク在住。
 [b]1964 in Brunnen, Switzerland.
 [l/w] New York.



(moonrise.east.march) 2005 Photo: Ellen Page Photography, New York
 Courtesy the artist and Galerie Eva Presenhuber, Zürich © the artist

45 **野口 里佳/NOGUCHI Rika**
 1971年 埼玉県生まれ。ベルリン在住。
 [b]1971, Saitama, Japan [l/w] Berlin



(人と鳥) 2010 Courtesy The Artist and Gallery Koyanagi

55 **嵯峨 篤/SAGA Atsushi**
 1970年 東京都生まれ。埼玉県在住。
 [b]1970, Tokyo, Japan [l/w] Saitama




(cube on white / white on cube (detail)) 2005 Photo : Taku SAIKI
 Courtesy 21st Century Museum of Contemporary Art, Kanazawa

46 **スーザン・ノリー/Susan NORRIE**
 1953年 シドニー(オーストラリア)生まれ。同在住。
 [b]1953, Sydney, Australia [l/w] Sydney



(TRANSIT) 2011 ©Suzan Norrie 2011

56 **佐藤 允/SATO Ataru**
 1986年 千葉県生まれ。京都府在住。
 [b]1986, Chiba, Japan [l/w] Kyoto



(生命力) 2008-2009
 Collection: Ko Wakabayashi Photo: Yasushi Ichikawa
 Courtesy of Gallery Koyanagi

47 **落合 多武/OCHIAI Tam**
 1967年 神奈川県横浜市生まれ。ニューヨーク在住。
 [b]1967, Yokohama, Kanagawa, Japan [l/w] New York



Installation view at Tomio Koyama Gallery, 2007
 ©Tam Ochiai, courtesy of Tomio Koyama Gallery

57 **鳥袋 道浩/SHIMABUKU**
 1969年 兵庫県生まれ。ベルリン在住。
 [b]1969, Hyogo, Japan [l/w] Berlin



(人間性回復のチャンス) 1995 神戸

48 **オノ・ヨーコ/ONO Yoko**
 1933年 東京都生まれ。ニューヨーク在住。
 [b]1933, Tokyo, Japan [l/w] New York



オノ・ヨーコ
 Courtesy of Yoko Ono

58 **宋冬(ソン・ドン)+ 尹秀珍(イン・シウジェン) SONG Dong + YIN Xiuzhen**
 宋 : 1966年 北京(中国)生まれ。同在住。
 尹 : 1963年 北京(中国)生まれ。同在住。
 SONG : [b]1966, Beijing, China [l/w] Beijing
 YIN : [b]1963, Beijing, China [l/w] Beijing
 (Chopsticks III) 2011
 ©the artist Courtesy Chambers Fine Art



49 **メレット・オッペンハイム/Mérete OPPENHEIM**
 1913-1985年 ベルリン(ドイツ)生まれ。バーゼルにて没。
 [b]1913, Berlin, Germany [d] 1985, Basel



横浜美術館
 コレクション

59 **杉本 博司/SUGIMOTO Hiroshi**
 1948年 東京都生まれ。ニューヨーク在住。
 [b] 1948, Tokyo, Japan [l/w] New York



(放電場128) 2009
 ©Hiroshi Sugimoto Courtesy of Gallery Koyanagi
 個人蔵

50 **ウィルフレド・プリエト/Wifredo PRIETO**
 1978年 サンクティ・スピリタス(キューバ)生まれ。
 ハバナ、バルセロナ在住。
 [b]1978, Sancti-Spiritus, Cuba
 [l/w] Havana and Barcelona



(One) 2008
 Photo: Ken Adlardp Courtesy the artist and NoguerasBlanchard, Barcelona

60 **孫 遜(スン・シュン)/SUN Xun**
 1980年 遼寧省阜新(中国)生まれ。北京在住。
 [b] 1980, Fuxin, Liaoning Province, China [l/w] Beijing



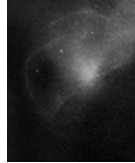
(21克) 2010

61 砂澤 ビッキ/SUNAZAWA Bikky
1931-1989年 北海道生まれ。札幌にて没。
[b] 1931, Hokkaido, Japan [d] 1989, Sapporo.



《神の舌》1980年 撮影：佐藤雅英 札幌芸術の森美術館蔵

62 田口 和奈/TAGUCHI Kazuna
1979年東京都生まれ。同在住。
[b] 1979, Tokyo, Japan [l/w] Tokyo



《失ったものを修復する #2》2009
Copyright the artist, Courtesy ShugoArts

63 田名網 敬一/TANAAMI Keichi
1936年 東京都生まれ。同在住。
[b] 1936, Tokyo, Japan [l/w] Tokyo



《Sweet Friday》1975 collection of the Artist

64 田中 功起/TANAKA Koki
1975年 栃木県生まれ。ロサンゼルス在住。
[b] 1975, Tochigi, Japan [l/w] Los Angeles



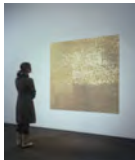
《cups on a car》2010

65 立石 大河亞/TATEISHI Tiger
1941年 福岡県生まれ。1998年岐阜にて没。
[b] 1941, Fukuoka, Japan [d] 1998.



《大地球運河》1994
©Tiger Tateishi Courtesy of YAMAMOTO GENDAI

66 冨井 大裕/TOMII Motohiro
1973年 新潟県生まれ。東京都在住。
[b] 1973, Niigata, Japan [l/w] Tokyo



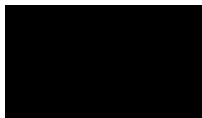
《ゴールドフィンガー》2007 埼玉県立近代美術館での展示風景
撮影：柳増大 ©Motohiro Tomii

67 戸谷 成雄/TOYA Shigeo
1947年 長野県生まれ。埼玉県在住。
[b] 1947, Nagano, Japan [l/w] Saitama



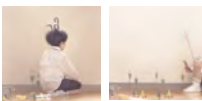
《ミニマルブロック IX》2011 撮影：武藤滋生 Collection of Shigeo Toya

68 蔡 佳蕙 (ツァイ・チャウエイ)/TSAI Charwei
1980年 台北生まれ。パリ、ニューヨーク、台北在住。
[b] 1980, Taipei [l/w] Paris, New York and Taipei



《Sky Mantra》2009 Taipei, Taiwan Photo Courtesy of the artist
Commissioned by Sherman Contemporary Art Foundation, Sydney

69 薄久保 香/USUKUBO Kaoru
1981年 栃木県生まれ。東京都在住。
[b] 1981, Tochigi, Japan [l/w] Tokyo



《D&D Delicate discovery》2007 Collection of Dazaifu Tenmangu Shrine
©Kaoru Usukubo Courtesy of TARO NASU

70 歌川 (二代) 国輝/UTAGAWA Kuniteru II
1830-1874年
[b] 1830 [d] 1874

横浜美術館
コレクション

71 歌川 (一勇斎) 国芳/
UTAGAWA (Ichiyusai) Kuniyoshi
1798-1861年
[b] 1798 [d] 1861



《東都三ツ股の図》天保2 (1831) 年頃 大判横
所蔵: 川崎・砂子の里資料館

72 歌川 (五雲亭) 貞秀/UTAGAWA (Gountei) Sadahide
1807-1879年
[b] 1807 [d] 1879

横浜美術館
コレクション

73 歌川 (玉蘭齋) 貞秀/
UTAGAWA (Gyokuransai) Sadahide
1807-1879年
[b] 1807 [d] 1879

横浜美術館
コレクション

74 アピチャッポン・ウィーラセタクン/
Apichatpong WEERASETHAKUL
1970年 バンコク(タイ)生まれ。バンコク、チェンマイ在住。
[b] 1970, Bangkok, Thailand [l/w] Chiang Mai and Bangkok



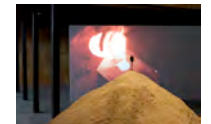
《PRIMITIVE》2009 © Illuminations Films and Kick the Machine Films Courtesy of SCAI THE BATHHOUSE

75 八木 良太/YAGI Lyota
1980年 愛媛県生まれ。京都府在住。
[b] 1980, Ehime, Japan [l/w] Kyoto



《音楽の光》2006
©2006 Lyota Yagi Courtesy of Mujin-to Production, Tokyo

76 山下 麻衣+小林 直人/
YAMASHITA Mai + KOBAYASHI Naoto
山下：1976年 千葉県生まれ。ベルリン在住。
小林：1974年 千葉県生まれ。ベルリン在住。
YAMASHITA: [b] 1976, Chiba, [l/w] Berlin
KOBAYASHI: [b] 1974 in Chiba [l/w] Berlin
《A Spoon Made From The Land》2009, Mai Yamashita+Naoto Kobayashi
Courtesy of Artists and Takuro Someya Contemporary Art

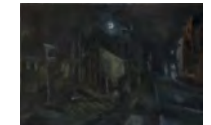


77 尹 秀珍 (イン・シウゼン) /YIN Xiuzhen
1963年 北京(中国)生まれ。同在住。
[b] 1963, Beijing, China [l/w] Beijing



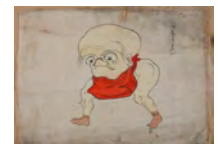
《One Sentence》2011 Photo: Song Dong
Courtesy ALEXANDER OCHS GALLERIES BERLIN | BEIJING

78 横尾 忠則/YOKOO Tadanori
1936年 兵庫県生まれ。東京都在住。
[b] 1936, Hyogo, Japan [l/w] Tokyo



《黒いY字路3》2011 撮影：上野剛宏

79 湯本 豪一コレクション/
YUMOTO Koichi Collection



《化物尽くし》 ©今井 智己

※ 72、73は同一人物
※ 79はコレクション

関連イベント

*計画停電実施などにより、日時や開催場所など変更の可能性があります。
 *最新の情報、チケット情報、申込方法の詳細についてはウェブサイト (<http://www.yokohamatriennale.jp/>)
 もしくは会場にてご確認ください。
 *特に記載がない場合、イベントの主催は横浜トリエンナーレ組織委員会、予約不要、参加無料、当日先着順です。
 ただし、入場の際にヨコハマトリエンナーレ2011のチケットが必要な場合があります。
 *BankART miniは日本郵船海岸通倉庫 (BankART Studio NYK) の1階の会場です。

●トーク

アーティスト・トーク

8/6(土)・8/7(日)・10/15(土)・10/22(土) 13:30～

横浜美術館、日本郵船海岸通倉庫

アーティストック・ディレクター三木あき子によるトーク

8/13(土)・8/20(土) 14:00～15:00 BankART mini 定員50名

総合ディレクター逢坂恵理子によるトーク

8/14(日)・9/4(日) 14:00～15:00 BankART mini 定員50名

大友良英「プロジェクト FUKUSHIMA!トーク」

8/20(土) 19:00～21:00 ヨコハマ創造都市センター (YCC) 定員150名

●特別サポーター宣伝会議室

特別サポーターが「私の好きな1点」について宣伝する会議

8月27日(土) 14:00～(予定) プリンセス天功

9月以降、別所哲也と舞台の仲間たち、金原亭馬吉と唄家の仲間たち、横浜F・マリノス選手、劇団四季ミュージカルCATS横浜公演キャストなど、月2回程度開催予定

横浜美術館円形フォーラムなど *有料 定員100名(要事前申込)

共催：横浜美術館

●アーティスト・プロジェクト

ピーター・コフィン「ミュージック・フォー・プランツ」

《無題(グリーンハウス)》のなかで植物に音楽を聴かせるミニライブコンサートのシリーズ

8/6(土) ooioo

8/20(土) 大友良英ほか、会期中の土曜日17:30～(不定期)

ヨコハマ創造都市センター (YCC) 定員100名

カールステン・ニコライ《autoR》

作家が制作したステッカーを来場者が美術館前の工事囲いに貼る参加型作品

会期開場中常時 *100円以上の寄附(全額震災復興に活用します)

協賛：三菱地所株式会社 横浜支店

スッシリー・ピオック「パンプキン・プロジェクト」

かぼちゃに花の彫刻を施すパフォーマンスイベント

9/10(土)・9/11(日) 午後(予定) 横浜市環境活動支援センター(横浜市保土ヶ谷区狩場町213)

協力：横浜市環境創造局みどりアップ推進部農業振興課

●ジュニア・プログラム

キッズ・アートガイド2011

小中学生がガイド役となり、来場者に作品の解説をします

8/10(水)・8/19(金)・8/22(月)・9/11(日)・9/25(日)・10/2(日)・10/16(日)・10/30(日)

11:00～12:00 横浜美術館 14:00～15:00 日本郵船海岸通倉庫 (BankART Studio NYK)

ただし、8/19(金)は日本郵船海岸通倉庫 (BankART Studio NYK) のみ

関連イベント

*BankART miniは日本郵船海岸通倉庫 (BankART Studio NYK) の1階の会場です。

アート・パレード

安部泰輔の旗を掲げ、市内の小学校のマーチングバンドが行進
8月、9月、10月(予定) 横浜美術館
協力:横浜みなとみらいホール

OUR MAGIC HOURコンサート

神奈川県立横浜緑ヶ丘高校吹奏楽部によるコンサート
11/3(木・祝) 13:00~13:30 横浜美術館
協力:横浜みなとみらいホール

●OUR MAGIC HOUR プログラム

一時空と文化を超えたパフォーマンスとレクチャーシリーズ

一生に一回しか再生されないビデオ

落合多武による一回限りしか再生されないビデオ作品の上映
8/20(土) 16:30~17:00 BankART mini 定員50名

驚異の湯本コレクション—妖怪曼華

妖怪研究家湯本豪一による講演
司会:天野太郎 (キュレトリアル・チーム・ヘッド)
8/26(金) 15:00~16:00 横浜美術館円形フォーラム 定員100名(要事前申込)

歌川国芳の描く江戸と東京スカイツリーをめぐって

日本美術史家辻惟雄(MIHO MUSEUM館長)と東京スカイツリーデザイン監修者澄川喜一による対談
司会:逢坂恵理子(総合ディレクター)
9/10(土) 14:00~15:30 横浜美術館レクチャーホール 定員200名(要事前申込)
主催:横浜トリエンナーレ組織委員会、横浜美術館協力会 共催:横浜美術館

みること、えがくこと—脳科学とアートとの対話

脳科学者藤田一郎(大阪大学教授)による講演および横尾忠則との対談
司会:大隅典子(第34回日本神経科学大会長 東北大学大学院医学系研究科教授)
9/18(日) 14:00~15:50 横浜美術館レクチャーホール 定員200名(要事前申込)
主催:第34回日本神経科学大会、東北大学脳科学グローバルCOE
共催:横浜トリエンナーレ組織委員会、横浜美術館

ヨコハマトリエンナーレ2011 野村万作×萬斎×杉本博司・三番叟公演

『神秘域—OUR MAGIC HOUR』
杉本博司が手がける舞台空間で野村万作と萬斎の二つの『三番叟』の競演
9/21(水) 19:00~20:30 KAAT神奈川芸術劇場 *有料
主催/企画制作:公益財団法人小田原文化財団 共催:横浜トリエンナーレ組織委員会
提携:KAAT神奈川芸術劇場 協賛:メルセデス・ベンツ日本株式会社

「港のスペクタクル」音楽×映画 プログラム

サイレントフィルム『港の日本娘』の上映×チャンキトルネエド生演奏
10/9(日) 19:30~20:50 10/10(月・祝) 14:30~15:50 / 19:30~20:50
横浜美術館レクチャーホール *有料
主催:NPO法人ドリフターズ・インターナショナル、港のスペクタクル2011実行委員会
共催:横浜トリエンナーレ組織委員会、横浜美術館

Manga Scroll

クリスチャン・マークレーとミュージシャン巻上公一のコラボレーションによるパフォーマンス
10/22(土) 16:00~17:00 BankART mini 定員50名
協力:ギャラリー小柳

横浜市は「創造都市・横浜」を掲げ、歴史的建造物の活用による創造界隈拠点の形成など、文化芸術によるまちづくりを行ってきました。ヨコハマトリエンナーレ2011の期間中、これらの拠点と連携を図り、横浜をアートでいっぱいにし、横浜を楽しく街歩きできるようにします。

(1) 特別連携プログラム：

BankART Life III（ディレクター：池田修氏）及び黄金町バザール2011（ディレクター：山野真悟氏）がヨコハマトリエンナーレ2011と同じ会期（8月6日～11月6日）で開催されます。様々なアートのあり方・可能性を気軽に体感していただくため、ヨコハマトリエンナーレ2011は、特別連携セット券の発行、会場間無料バスの運行などにより連携を行います。

(2) 連携プログラム：

ヨコハマトリエンナーレ2011は、創造界隈拠点等で開催されるアートプロジェクトと連携をとりながら、まち中でアートイベントが開催されることを目指します。

詳細は別紙一覧表をご覧ください。

最新の情報は公式サイト <http://yokohamatriennale.jp>

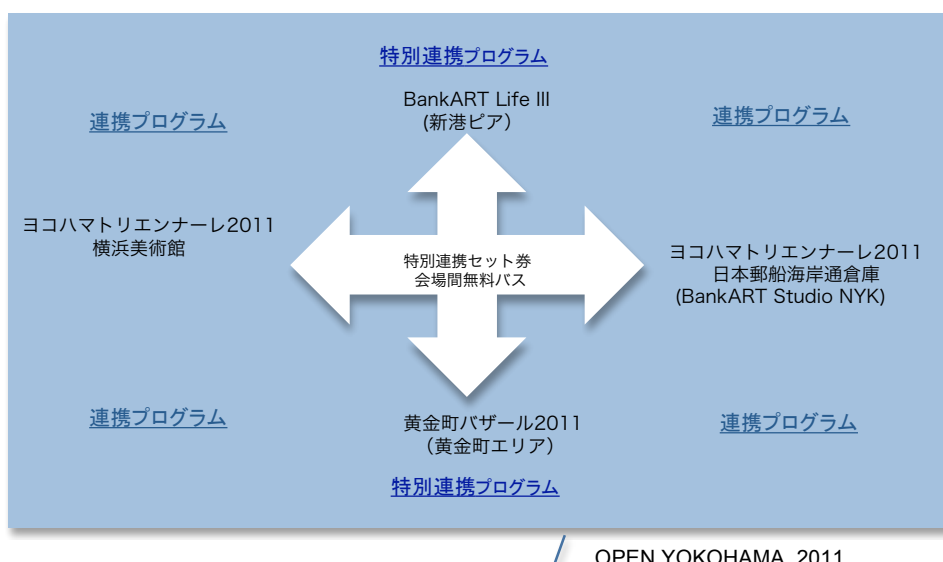
(3) OPEN YOKOHAMA 2011：

横浜ならではの「まち」の魅力・楽しさを発信し、横浜から新たなライフスタイルを提案するキャンペーン「OPEN YOKOHAMA 2011」が「ヨコハマトリエンナーレ2011」と同時開催されます。期間中、アート・文化・歴史・食など200を超えるさまざまなイベントが開催されるほか、多彩な横浜の魅力をまち歩きでお楽しみいただけます。詳しくはエリア内で無料配布する「OPEN YOKOHAMA 2011ガイドマップ」をご覧ください。

OPEN YOKOHAMA 2011公式サイト：<http://www.invitation-yokohama.jp/>

twitter 公式アカウント: [invite_YKHM](https://twitter.com/invite_YKHM)

Facebookページ: <http://www.facebook.com/open.yokohama>



1-主なイベント等

特別連携プログラム：

新・港村（しんみなとむら）～小さな未来都市（BankART Life III）

新・港村はあらゆる国と種類のクリエイターが働く蜃気楼のような小さな未来都市です。村の家や図書館や劇場は、建築家やアーティストによってデザインされますが、主に廃材や粗大ゴミ等で構成されます。新しい材料を使用した場合は、再利用します。そして外部からほとんど電気をいただきません。太陽光発電と充電システム、また楽しみながらの人力発電でなんとかやっています。夜はLEDや行灯が灯ります。新・港村は、東北と横浜の間を人や物資や知恵や力を積んで、何度も往来するためのプラットフォームです。毎週でるバスが、東北人と新・港人をつなぎ、未来都市へと出航します。

主催：BankART1929

会場：新港ピア 〒231-0001 横浜市中区新港2-5

時間：11:30～19:00 (金曜の夜は21:00まで)

問合せ：Tel:045-228-8212 (BankART1929新・港村Office) 公式サイト：<http://shinminatomura.com>



黄金町バザール2011

アートによるまちの再生というテーマのもと、2008年より始まった「黄金町バザール」は今年で4回目を迎えます。2011年度は、街の環境を生かしたアーティスト・イン・レジデンス・プログラムに焦点をあて、国内外のアーティスト約30組が黄金町に滞在しながら、街の中で多彩なプロジェクトを展開します。既存のスタジオや店舗空間、屋外空地の他、2011年夏に完成する京急線の高架下新施設も会場として加わり、街全体がアーティストのアトリエ、また発表場となる実験的な3か月間のプログラムです。

主催：NPO法人黄金町エリアマネジメントセンター、初黄・日ノ出町環境浄化推進協議会

会場：黄金町エリア 〒231-0066 横浜市中区日ノ出町2-158

時間：昼間の会場（主に屋内）11:00～19:00

夜の会場（主に屋外）日没～0:00

問合せ：Tel:045-261-5467 (NPO法人黄金町エリアマネジメントセンター) 公式サイト：<http://www.koganecho.net/>



スッティラット・スバリンヤ Sutthirat Supaparinya
《Welcome to LOVE LINK DOLLS-Your Voice》2010

2-ヨコトリキャラバンズ

まことクラブの遠田誠を隊長に、ヨコハマトリエンナーレ2011をPRするために結成されたヨコトリキャラバンズのメンバーが、横浜市内、東京都内の各地でPR。パフォーマンスの予定や記録はweb上で公開中です。

公式ブログ <http://ytcaravans.exblog.jp/>

twitterアカウント ytcaravans

公式サイト <http://www.yokohamatriennale.jp/>



©427FOTO

3-ヨコハマトリエンナーレ2011応援企画

一緒にトリエンナーレを盛り上げ、応援するイベント・企画等によって、まち中にヨコトリ応援ロゴマークが溢れます。

『ヨコトリへ行こう!』を一緒に広め、多くの方々に様々な形でヨコハマトリエンナーレ2011を楽しんでいただきます。



4-ヨコハマトリエンナーレ2011サポーター

ヨコハマトリエンナーレ2011を応援し、一緒に盛り上げる848人（7月22日現在）の市民ボランティアスタッフ。来場者へのおもてなしメニューの企画制作や宣伝活動、アーティストサポート、イベント運営など、トリエンナーレの開催に向け、準備を進めてきました。会期中は横浜美術館会場に設置するビジターセンターにて会場内外の横浜のおすすめ情報の提供や作品看視補助など、様々なプログラムでご来場の皆様をお待ちしています。

YOKOHAMA
TRIENNALE
SUPPORTER



お問い合わせ



広報に関するお問い合わせ

ヨコハマトリエンナーレ2011 広報事務局
(ナンジョウアンドアソシエイツ内)
担当：西山、柴田、市川
TEL：03-6408-5559
FAX：03-6408-5523
E-MAIL：yt2011@nanjo.com

市政に関するお問い合わせ

横浜市文化観光局創造都市推進課
(横浜市役所内)
担当：鶴田、山岸
TEL：045-671-2278
FAX：045-663-1928
E-MAIL：bk-tri@city.yokohama.jp

横浜トリエンナーレ組織委員会事務局
〒220-0012 横浜市西区みなとみらい3-4-1 横浜美術館内
TEL：045-663-7232
FAX：045-681-7606
E-MAIL：info@yokohamatriennale.jp
公式サイト：http://www.yokohamatriennale.jp/